

○市長（染谷絹代） 皆様、おはようございます。

第2回の島田市女性議会の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

女性議会に参加する議員の皆様方、このたびは第2回の女性議会に御応募いただきまして本当にありがとうございます。また、島田市議会の紅林議長様をはじめ議員の皆様方におかれましても、女性議会の趣旨を御理解いただきまして、快く本日の運営に御協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

さて、本日7月30日でございますが、男女共同参画の日であります。これは県の男女共同参画の日、そしてまた、島田市の男女共同参画の日であります。その理由は、明治9年に金谷の横岡にお住まいだった女性が日本で初めて投票権を行使した日を記念するものでありまして、このような日に第1回同様、女性議会を開催できることを私は大変うれしく思っております。

ここにありますのは、県立図書館に保存されております明治9年7月30日の投票用紙のコピーでございます。当時は何々県のどここの選挙であること、誰に投票するのか、投票した人の住所、名前まで全部が書かれたものでありまして、これが残っているために、この明治9年7月30日、これだけ多くの女性の方々が投票したという証拠が残っているということでございます。

昨今、少子高齢化や核家族化など社会情勢が急激に変化する中で、男女が互いに相手を尊重し、そして相手の大切さを認識して、支え合う男女共同参画社会の実現が求められております。本市におきましても、男女が平等とともに助け合い、一人一人が心豊かに暮らせるまちを目指してさまざまな施策を推進してありまして、この女性議会についても女性の参画を拡大する最も効果的な施策の一つであると考えております。日ごろ女性の視点で見えるものを、この議会でぜひ私どもに気づかせていただきたいということが1点。

そしてまた、ここに参加する女性議員の皆様の中から本物の市議会議員になろうと志す方が生まれてくること、こういったことを私は願っております。

私が女性としてこの島田市長に就任以来、常々感じていることは、さまざまな場における女性の進出がまだまだ少ないということでございます。

例えば、市が設けております審議会の委員や地元町内会の役員の皆様方、ほとんど男性でありますし、また全国に813あります市の首長、この首長も実は今日現在で全国で18人女性の市長がおります。813人中の18人でありますから、わずか2%でございます。

政治もまちづくりも私は男女双方の視点が大事であると思います。人間の目も片目だけでは立体的に物を見ることができません。やはり男女それぞれの目が重なって初めて政治もまちづくりも立体的に見えてくるのではないかと思います。ですから、今後ますます行政だけではなく市民の皆様や各種団体が一体となって女性と男性との区別を取り除いていく必要があるかと思っております。

これからもお互いに尊重し、支え合う、豊かな社会の実現に向けて、市民の皆様とともにさまざまな事業を実施してまいりたいと考えておりますので、ぜひ御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本日は忌憚のない御意見を、そして女性ならではの視点による御提案を存分にお聞かせいただけますようお願いを申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく願い申し上げます。